



レジリエンス能力

ヒヤリハット事例をレジリエンス能力の観点から分析すると。

ヒヤリハット事例	レジリエンスに関する4つの能力
船倉を搬送する作業を行っている時、吊钩の付着と受取側のずれがあったため、吊钩は30cm（長さ150cm）をベビーサンダーで切断するに至って行っていたところ、サンダーが跳ねて、壁に当たりそうになった。	①予測能力 薄い板をベビーサンダーで切断しようとすると思われるかもしれない。
	②注意能力 ベビーサンダーの状態を注意していた。
	③対応能力 跳ねたベビーサンダーをよけられるよう、あらかじめ壁に構えていた。
	④学習能力 こうした「予測」「注意」「対応」できるよう能力の教えや事例から「学習」していた。

船倉を搬送する 30歳の若手

これら4つの能力が活かされた結果、このヒヤリハット事例は災害に至らなかった。

